

# とくしま ブランド

## 紙編 1

変するための拠点施設として1989年にオープンした。館内では和紙製木へと発展し、地域での工程が見学できるほどの重要な産業となつて、紙すきやちぎり絵の講習会など、阿波和紙の

## 期の副業から発展

東西に裾野を広げる美しい形から「阿波富士」と称される高越山のふもと、吉野川市山川町。町の中央部に

「阿波和紙」として強い町、山川町、徳島市、小松島市に九つの製紙業者があった。県立工業技術センターの元所長で、長年にわたる阿波和紙の研究に取り組んできた野村俊夫さん(62)が振り



「伝統を守るといふことは必ずしも昔ながらのやり方を貫くということではなく、時代が求めるものを、伝統を生かして作っていくことなのだろう」。野々村さんがほほ笑んだ。

幾たびかの危機を乗り越え、現代に属する「阿波和紙」。伝統とモダンさを兼ね備えた高付加価値商品として、全国に多くのファンを持つ。その歩みを振り返ると、伝統的な技を伝える一方、最新の技術を積極的に取り入れるしなやかさもあつた。阿波和紙の歴史を追

## 手すきの歴史

昔ながらの紙すき場を再現した作業スペースでは、熟練の職人たちが手際よく紙をすく。大きさは名刺サイ

生し、和紙の特長は、何となく、紙すきやちぎり、和紙の特長は、何となく、講習会など、阿波和紙の特長は、何となく、

期の前、和紙原料の繊維は長い、針葉樹などの木材パルプから作る洋紙に比べて、和紙原料の繊維は長い、その繊維が紙すきの

紙編 1、和紙の特長は、何となく、紙すきやちぎり、和紙の特長は、何となく、講習会など、阿波和紙の特長は、何となく、

期の前、和紙原料の繊維は長い、針葉樹などの木材パルプから作る洋紙に比べて、和紙原料の繊維は長い、その繊維が紙すきの

紙編 1、和紙の特長は、何となく、紙すきやちぎり、和紙の特長は、何となく、講習会など、阿波和紙の特長は、何となく、

## 第4部

その繊維が紙すき、和紙の特長は、何となく、紙すきやちぎり、和紙の特長は、何となく、講習会など、阿波和紙の特長は、何となく、

紙編 1、和紙の特長は、何となく、紙すきやちぎり、和紙の特長は、何となく、講習会など、阿波和紙の特長は、何となく、

期の前、和紙原料の繊維は長い、針葉樹などの木材パルプから作る洋紙に比べて、和紙原料の繊維は長い、その繊維が紙すきの

紙編 1、和紙の特長は、何となく、紙すきやちぎり、和紙の特長は、何となく、講習会など、阿波和紙の特長は、何となく、



作業場で黙々と紙をすく職人たち「吉野川市山川町の阿波和紙伝統産業大会館」

# とくしま ブランド物語

「ちゃぶん、ちゃぶん 槽の前に立つ。水槽に張られた水には、ほぐした館(吉野川市山川町)の コウゾの繊維とトロロア作業場から、優しく、静かな「波」の音が聞こえてくる。

揺りかこのような、ゆったりとしたリズム。和紙が生まれる時の音だ。親子二代で紙すきに従事する原田賢美さん(47)が、竹ひごで編まれた簀を取り付けた木枠「簀桁」を手に、「漉き舟」と呼ばれる水

## 富士製紙企業組合

# 「用と美」備え 需要開拓

です。縦横に力強く揺り動かして繊維を絡ませると同時に、余分な水を切っていく。

ネリは和紙独特の原料で、洋紙にはない技法。繊維が重みで水中に沈むことを防ぎ、紙の密度を均一にするほか、簀から落ちる水の速度を遅くし、繊維同士を圧着させる

役割を果たす。ネリの使用者の藤森美氏(95)が、和紙産業の継承を目指し「富士製紙企業組合」を設立。新たな需要の開拓に力を入れている。同組合ではさらに、み染めや絞り染めといった加工を施した染め紙を商品化。布を染色するのと同じ加工に耐えるの長男で現在、組合理事長を務める洋一氏(64)は「家業と地域の雇用を守るだろ。ちぎり絵の素材や贈答品の包装紙など」と往時を語る。美氏は徳島特産の藍染は、今も同組合の看板商



色とりどりの染め紙が並ぶ阿波和紙伝統産業会館のミュージアムショップ—吉野川市山川町

品の一つとなっている。時代に求める和紙を求め、父の信念を受け継ぎ、さらに発展させたのが洋一氏だった。職人の減少と需要増を受けて82年の版画上房に立ち寄った時、作業者は「インクジェットプリンタを使う作品を印刷するの紙が積み上げられていた。世界各国から集められた多種多様な紙

瞬間だった。(湯浅翔子) 各地の間屋や小売店を回

# とくしま ブランド物語

「これがアワガミ・イ  
ンクジェット・ペーパー  
(A I J P)の表現力」。

富士製紙企業組合(吉野  
川市山川町)の藤森洋一  
代表理事(64)は、そう言  
って一枚の写真を差し出  
した。異国の風景をモノ  
クロで切り取った作品  
は、絵画のようにも見え  
る独特の風合いがある。

A I J Pは、同組合が  
2004年に発売したイ  
ンクジェットプリンター  
印刷対応の和紙だ。家庭  
用カラープリンターの主  
流であるインクジェット  
方式に対応。アート作品  
の印刷にも耐えるA I J  
Pは、書道や美術工芸の  
素材と位置付けられてい

## 広がる用途

紙の研究・普及に尽力し  
た野々村俊夫氏は「藤森  
さんの努力と情熱があっ  
たからこそのきた画期的  
な商品」と言い切る。そ

だけ」と謙 藤森氏はまず、コウゾとで、一般の光沢紙には  
そんな やミツマタ、ガンビなど ない柔らかなタッチの印  
刷を可能にした。鮮明す  
業技術セン の程度やにじみ具合を根  
ターの元所 気強く調査。和紙の凹凸  
長て阿波和 をなくすために土や炭織 「A I J Pならでは」と

## プロの版画や写真印刷

紙の配合し  
た野々村俊夫氏は「藤森  
さんの努力と情熱があっ  
たからこそのきた画期的  
な商品」と言い切る。そ

支持を集める。  
プロのアーティストに  
に、新たな市場開拓も進  
める。例えば耐久性に優  
高紙文具ブランド「a  
w a g a m i i n k (アワ  
ガミ・インク)」では、  
海外の見本市で高い評価  
を受けると同時に課題も

た和紙の利用シーンを飛  
躍的に拡大させた。  
開発に要した期間は4  
年。藤森氏は「既存の技  
術を和紙に  
応用させた  
ない。



藤森代表理事の元には、世界各  
国の芸術家から「A I J P」を  
使った作品が届く—吉野川市山  
川町の富士製紙企業組合

ながまねしてくれる」と  
紙「A W A L L (ア  
ウォール)」 突き付けられた。小売業  
を展開。和紙 者の心はつかんだが、価  
の風合いを生 格面で消費者に浸透しな  
かしたデザイ かったのだ。ニューヨー